以上のような今回の筆者の調査結果と従来のそれとを総合すると，北大東島には現在，115種のものが帰化植物として存在し，帰化率は約36％となっている。なお先に山崎敬博士（1970）によって行われた調査報告における小笠原諸島の帰化植物数89種，帰化率約22％と比較すると興味深いものがある。これに更に南大東島のそれとを加えれば，大東諸島の帰化率は可成り高いものとなろう。

終りに，この調査ノートをまとめるに当り，現地での踏査や文献などについて，種々ご援助を戴いた沖縄県島尻郡北大東村役場の関係諸氏ならびに山崎敬博士を始めとする各位に対し，衷心より感謝の意を表する次第である。

Isl. Kita-daitojima, Pref. Okinawa is remotely isolated about 360 km to the east of Isl. Okinawa in the Pacific Ocean. I had an opportunity to collect the plants of this island from the 21st to the 23rd of May 1985, and found 23 naturalized species being no record in the island, in which 13 species seem to have escaped from the cultivated plants in the island. Including the newly found species the naturalized plants of the island become 115 species and the naturalized element is about 36% of the total flora of the island.

文　　献

文化庁 1973. 大東島天然記念物特別調査報告，1-72.　山崎敬 1970. 小笠原諸島の高等植物．文部省・文化庁，小笠原の自然―小笠原諸島の学術・天然記念物調査報告書，95-202.

（東京歯科大学）

□周以良（編）：**黒龙江省植物誌 1. 苔蘚植物門・苔綱・角苔綱**　231pp. 1985. 東北林業大学出版．3元（¥1800）．中国各地で行われている植物誌刊行の一連のもので，第2巻で蘚類を取り扱うことになっている。今回の第1巻で扱っている苔類は約130種。大体が日本の中部～東北地方に分布するもので占められている。各種について中国語による記載と図がある。図は1981年に出版された東北苔類植物誌に使われた図がほとんどである。一部（*Porella, Frullania*）では新しい図が用意されているが，ほとんどのものは Schuster や 服部の原図をコピーしたと思われるものである。　（井上　浩）